



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	横浜税関南本牧検閲センター検査場(仮称) [25] 建築工事 関係検査場	階数	地上2階、地下0階
建設地	神奈川県横浜市中区南本牧9-3	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2023年11月13日
敷地面積	8,176 m ²	作成者	福林 香
建築面積	2,112 m ²	確認日	2023年11月13日
延床面積	2,278 m ²	確認者	福林 香

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%

②建築物の取組み: 65%

③上記+②以外の: 61%

④上記+: 61%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 塩害対策や保全しやすい計画とし、施設の長寿命化を図る。 みなと色彩計画の適合と植栽計画により、地域の景観形成を図る。 太陽光発電パネルの設置やトップライト、ハイサイドライト等により自然エネルギーを有効に活用した計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨港地区の建物として、対塩害や対風対策を行う。 風力太陽光発電付き外灯の設置を行う。
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ブラインドや庇を設置することにより、日射遮蔽や屋光制御を行う。 細かな空調ゾーニングや明るさセンサーを用いた照明制御により消費エネ 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 事務エリアは階高を4m確保しゆとりある空間とする。 維持管理しやすい内外装仕上とする。 外部の鉄部や配管は塩害に強くや耐候性のある材料を使用する。
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> トップライト、ハイサイドライトにより自然エネルギーを活用 太陽光発電9.84kWを設置する。 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> 節水コマや省水機器の設置により、水使用量の削減を図る。 内装仕上げ材は有害物質を含まない材料を採用する。
	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> 建物の色彩はみなと色彩計画に則したものと共に、植栽により景観形成を行う。
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> BEI0.6以下を目標とし、環境負荷の少ない計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

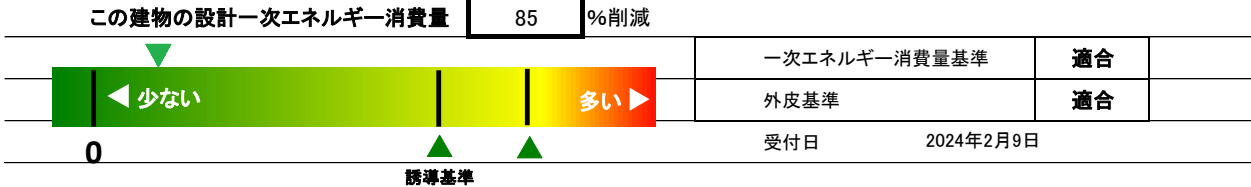


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 **横浜税関南本牧コンテナ検査場 開披検査場**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ・太陽光発電9.84kWを設置する。
- ・トップライト、ハイサイドライトを採用している。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

- ・細かな空調ゾーニングや明るさセンサーを用いた照明制御により消費エネルギーの削減を行う。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

- ・維持管理しやすい内外装仕上とする。
- ・外部の鉄部や配管は塩害に強くや耐候性のある材料を使用する。

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

- ・建物の色彩はみなと色彩計画に則ったものとともに、植栽により景観形成を行う。

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2022年版v.1.2
横浜税関南本牧コンテナ検査場 開校検査場

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
			配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 屋光利用									
3.2 グレア対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
4.2 換気									
4.3 運用管理									
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.2 心理性・快適性									
1.3 維持管理									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.4 信頼性									
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									



CASBEE横浜2022年版v.1.2
横浜税関南本牧コンテナ検査場 開披検査場

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-			2.2
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-			5.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	4.0	0.10	-	-			4.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-			5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-			3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
集合住宅の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.0
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-			3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-			2.9
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.7
1 地球温暖化への配慮				4.5	0.33	-	-			4.5
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-			3.5
2.1 大気汚染防止				5.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-			-
3 交通負荷抑制				4.0	0.33	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-	-	-			-
1 騒音				-	-	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.67	-	-			-
1 風害の抑制				-	-	-	-			-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	1.00	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.7	0.33	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				4.0	0.70	-	-			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-

上記以外の重点項目							
<事務用途>				-	-	-	-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	3.0	-	-	-
<住宅用途>				-	-	-	-
健康と安心				-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-